

令和6年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 大城小学校プラン

《学校の教育目標》

自ら考え、心豊かにたくましく生きる子どもの育成

《本年度 学校の重点目標》 協働的な学びで、思いやりをもってチャレンジする子どもの育成

基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、他の学習や生活場面に生かすことができる。

【つくる力】

相手や状況に合わせて適切に表現し、お互いの考えを取り入れながら協働できる。

【つなぐ力】

夢や目標、前向きな意欲、困難を乗り越える意志を持ってあきらめずにチャレンジしようとする。

【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②「めあて、交流、まとめ、ふり返り」の学習活動において、情報の数値や文字に加え、絵、写真、図、動作等で視覚的に示し、表現させる。(算数 毎時間)
- ③ICTを活用して、教材の提示、情報収集、写真や動画による記録を行う。(クロムブックの活用をほぼ毎日)
【成果指標】「授業でICT(クロムブックなど)をほぼ毎日使用している」と答える児童の割合が80%以上
- ④教員のスキルアップのための研修の参加促進(学期に1回)と教材研究時間の確保(週に1回)、ペアで自分の思いや考えを、日本語や外国語(外国語活動、外国語 毎時間)でも伝え合う活動を行う。

笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②会議の目的と人数・時間設定が適切かを見直す。子どもにかかわる時間(授業づくり・学級づくり)、学級事務の確保を行う。(学期に1回)
【成果指標】「先生は分かるまで教えてくれる」と答える児童の割合が80%以上

協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載

楽しい学校

- ①「くるめアクションプラン」を活用した不登校・いじめ問題対応の徹底を図る。不登校委員会や事例研修による共通理解と組織的な対応を行う。(月1回以上)いじめ等のアンケート結果に基づき、教育相談週間を設けて児童・教員の2者面談を行う。(月1回のアンケート実施、教育相談週間の設定)
【成果指標】前年度より不登校児童数が減少、いじめ認知件数が増加
- ②児童会、委員会が主体となって「安全な学校の過ごし方・廊下の通り方」「けが人数と発生場所、原因」を伝える取組を行う。(月1回)
- ③縦割り班による集会活動や縦割り班活動を行う。(学期に1回程度)

【体力向上】

- ①体育科の学習に、体を柔らかくする運動、瞬発力を高める運動を行う期間を設ける。(毎時間)
- ②大城小体力アップ(長縄「1校1取組」運動)
・体力アップシート活用率:目標80%
・スポコン広場登録学級数:目標1学級

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①あいさつ運動の取組を児童会で行い、全校で実施・評価する。(できたと答えた児童が80%以上)
- ②「だまってそうじ」実施し、学期に1回、全校で評価する。(できたと答えた児童が85%以上)
- ③家庭と連携して、学年×10分以上の家庭学習を行い、評価する。(できたと答えた児童が80%以上)

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】 教職員の人権意識の高揚と指導力の向上を図り、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を推進する。 [要綱P106参照]
- 【特別支援教育】 教育支援計画・個別の指導計画を学期ごとに見直し、共通理解と活用を図る。 [要綱P 57参照]
- 【キャリア教育】 キャリアパスポートを作成し、自己の伸びを認め合う場をつくる。 [要綱P153参照]